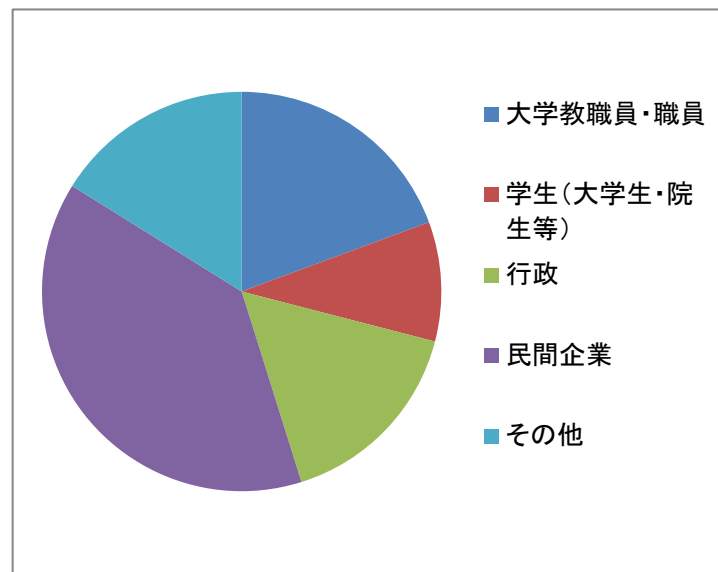


第8回マイクロジオデータ研究会
「国・地方自治体によるマイクロジオデータ利活用の最前線」
アンケート集計結果

有効回答数 31

Q1. あなたのご所属をお教え下さい

大学教職員・職員	6 情報・建築・地理
学生(大学生・院 生等)	3 工学・地理・理工学
行政	5 市役所・国交省・内閣官房
民間企業	まちづくり・小売業・地方創生・ 12 情報通信・コンサル・道路調 査・建設コンサル
その他	5 団体・町会・シンクタンク
合計	31

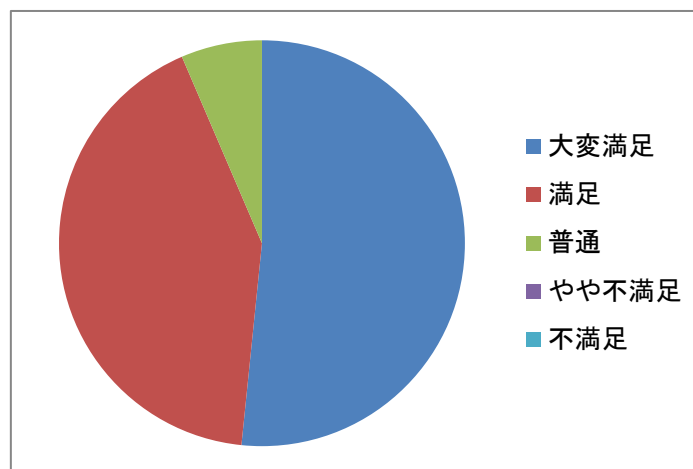


Q2. 当研究会にご参加された目的をお教え下さい

- ・プログラムに関心があった。・関連技術と応用利用分野を調査したかった。
- ・新たな知見を得るため。・MGDを利活用して地方課題解決の着眼点、ヒントを得るため。
- ・自治体におけるG空間情報活用例を知るため。・情報収集
- ・自治体での実務的な話題が取り上げられることを期待して。
- ・ビッグデータの活用の進捗度を知りたかった。
- ・地理情報の現状を知るため。・研究動向の把握
- ・MGDに関連する研究を開始したため、共同研究を行える機関や可能性を模索するため
- ・政府による空間情報、ビッグデータの動向(G空間)の情報収集

Q3. 本日の研究会の満足度をお教え下さい

大変満足	16
満足	13
普通	2
やや不満足	0
不満足	0
合計	31



Q4. Q3の理由をお教え下さい(複数回答可)

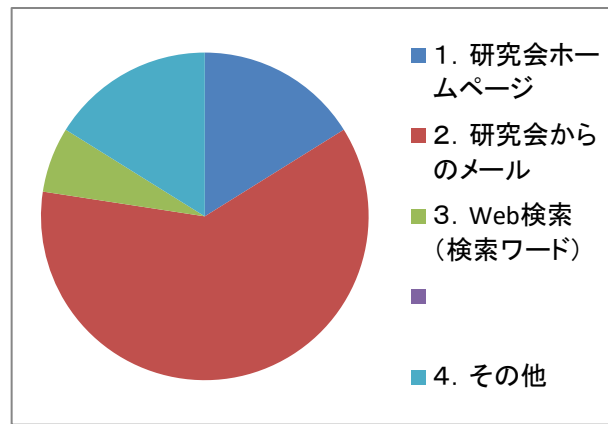
良かった点	
1: テーマ、内容が良かった	15
2: 講演者の話が分かりやすかった	12
3: 今後のヒントを得ることが出来た	19
4: その他	2 関係者との情報交換が出来た RESASのことがよく分かった。
満足できなかった点	
1: 期待していた内容と異なった	0
2: 講演者の話が分かりづらかった	0
3: 得るものが少なかった	0
4: その他	1 時間を詰め込み過ぎかと感じた。

Q5. 特に興味深かった内容があればご記入下さい

- ・RESASを使った研究(7) ・水戸市の取り組み(4) ・G空間(国交省)(3) ・Pstay調査(3) ・道路調査(3)
- ・クラウドソーシングを活用した各種データ収集モデルが大変興味深かった。
- ・産学官連携の可能性(パネルディスカッション)
- ・防災に関する取り組みが進んでいる点。
- ・クラウドソーシングや地域住民とのインタラクションが都市形成に関わっていく潜在的な可能性を示すトピック(Pstay、水戸市、グローバルサーベイなど)。
- ・政府によるG空間の取り組み ・道路調査が安価で出来る可能性
- ・マイクロジオデータを活用した研究がかなり進んでいる点

Q6. 本日の研究会のことをどこでお知りになりましたか？(複数回答可)

1. 研究会ホームページ	5
2. 研究会からのメール	19
3. Web検索(検索ワード)	2 マイクロジオデータ GIS学会
4. その他	5 研究会メンバーからの紹介 Facebookページ
合計	31



Q7. その他、本日の研究会について何かございましたらご自由にご記入下さい

- ・色々勉強になりました。
- ・オープンデータからでは真実が分からない事象についてどう知れば良いのか？
- ・今後も情報をいただければと思います。
- ・会場が狭かった。もっと広い会場を準備すべき。会場に入りきれない人がいた。
- ・パネルディスカッションが官ばかりで偏っていた。アカデミックな人も入れて欲しかった。
- ・以前の研究会で行われていた中継？(Ustream)を復活させて欲しい。
- ・講演資料を配布して欲しい(研究会ホームページで配布されますか？)

Q8. 今後テーマとして取り上げて欲しい内容などございましたらご記入下さい

- ・データを使った事例発表が欲しい。
- ・地方、コンパクトシティ推進に向けたデータ活用例と課題について
- ・地域防災に活用できるデータの提供を期待したい(行政だけでなく街場単位でも)
- ・水戸市におけるPstay調査の中でのゲーム的な枠組みの導入など、文化的・エンタメ的な視点による同様のトピックの一般に向けたモチベーション向上について、もっと多くの事例が知りたい。
- ・官学連携の具体的なアクションをもっと知りたい。